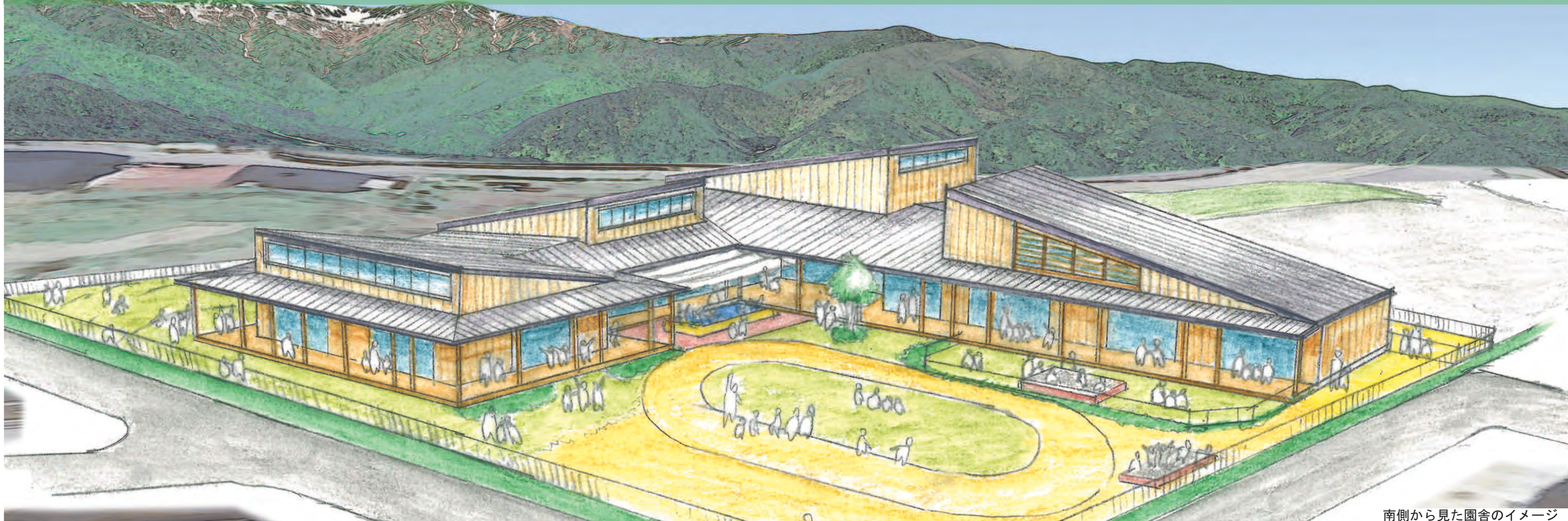


地域に開かれ こどもたちが「内から育つ」森のような園舎



南側から見た園舎のイメージ

「赤穂新保育園」の目指すもの

私たちは保育園の敷地近くにある十二天の森から着想を得て起伏・木々・小川・広場など多様な要素で構成される森のような園舎をつくります。様々なスケールや性格の空間をちりばめた**森のような多様性のある園舎**は、こどもたちの心身のあらゆる側面に働きかけ、意欲や自主性を引き出して、予測困難な現代社会を生き抜くための**「内から育つ」力を育む土壌**となります。

また**地域との関わり**も、安全・安心・健全な保育環境には不可欠です。園舎は園児や保護者だけでなく、保育士さんが日々働き、地域住民に見守られる場所でもあります。

自然と街並みが程よく調和した場所に建つ**「赤穂新保育園」**が地域に開かれ、みんなに愛される**地域のシンボル**となることを目指します。



1. 2つのアルプスと呼応する勾配屋根の連なる園舎

■周囲の景観と調和しながら どこから見ても目を引く園舎

園舎へのアプローチは北側にあり、日当たりの良い園庭は南側、連携を計る小学校は東側、送迎の主となる国道は西側と敷地はどの方角もないがしろにできません。そこで平面計画に合わせて**多方向に勾配屋根**をかけ採光窓を設けることで**どこから見ても表側**となるように計画します。表裏のない勾配屋根の小山の連なりが南と中央、2つのアルプスの山並みに呼応し景観と調和した**地域のシンボル**となる園舎をつくります。

特に玄関のある北側は、赤穂新保育園の顔としてガラス張りの広い玄関ポーチや遊戯室のガラス窓を通して園舎内の様子が良く見え、**開放的で明るい保育園の雰囲気**が地域に伝わります。



北側から見た園舎のイメージ

コンセプト

1. 2つのアルプスと呼応する勾配屋根の連なる園舎
2. インクルーシブな保育環境の土台をしっかりとつくる
3. 「内から育つひたむきな子」を育む森のような木造園舎
4. 地域にやさしくライフサイクルコストを低減する木造園舎

2.インクルーシブな保育環境の土台をしっかりとつくる

全てのこどもたちが共に育ちあえる保育環境の土台をしっかりとつくり多様なニーズに対応します。

■わかりやすい配置・動線計画

■**駐車場**
北側駐車場は送迎用として約30台駐車できます。
駐車スペースライン・通行方向サインを設置しスムーズな車両通行を実現して**送迎時の渋滞の発生を防ぎます**。
既存ゲート周辺に來客用駐車場3台分を設置します。

■**園児/保護者の登退園動線**
駐車場から園舎へは、園舎中央付近につながるわかりやすい経路1本としここにセキュリティゲートを設置します。
園舎内へは玄関ポーチから園舎に入るか、東側の園庭アプローチを経て園庭を経由して各保育室にアプローチできます。
■**事務室**
玄関ホール、園庭、未満児園庭、未満児エリア、以上児エリア等を見渡せる管理しやすい位置を事務所とし**園全体の安全・安心の要**とします。

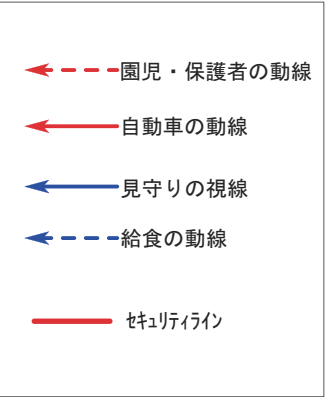
■セキュリティラインの明確化で安心・安全を確保

不法侵入や園児の脱走を防ぐため、セキュリティラインを明確化します。來客用ゲート、登退園用ゲートはセキュリティゲート（電気錠）とし通行を管理します。これにより**園全体の安全・安心の基盤をつくる**とともにセキュリティラインの適所に監視カメラを設置して**地域の安全環境の向上にも寄与**します。



■**園庭**
陽当りの良い園庭、落ち着いた未満児園庭、直射日光を遮るオーニングを設置したプール、建設搬出土を活用して高低差をつけた西の丘等、**変化のあるたくさんの園庭**がこどもたちの遊び場となります。
■**バリアフリーとユニバーサルデザイン**
段差のある箇所にはスロープを併設し出入口は広く設けることで車いすでも移動しやすい**バリアフリー**の園舎とします。またこどもの小さな手でも使いやすい手摺りや取っ手を採用するなど**ユニバーサルデザイン**に配慮します。低い位置に窓を設けハイハイするこどもも外の景色を楽しめるようにしたり**全てのこどもたち**が安全かつ自由に遊べるようにします。更に園内のサインについてはシンプルかつ色・形・イラストなどで**直感的に分かる**ものとします。

また敷地の南西側は市道よりも地盤が下がるため市道からの覗き見対策として、熱処理を施した耐久性のある木ルーバー等で**目隠し壁**を設けます。圧迫感を与えない景観への配慮と防犯対策を同時に叶えます。



■面積表	
床面積	
事務室	45.0㎡
0才児保育室	32.8㎡
1才児保育室	51.3㎡
2才児保育室	51.3㎡
3才児保育室①	42.7㎡
3才児保育室②	42.7㎡
4才児保育室	60.3㎡
5才児保育室	60.3㎡
調理室	117.5㎡
水廻り諸室	86.2㎡
遊戯室	141.0㎡
廊下等	210.5㎡
バックヤード	53.0㎡
延床面積	994.6㎡

■コンパクトで使いやすい 平面計画

■**玄関ホール**
気軽なコミュニケーションスペースにもなる玄関ホールは、相談室、クールダウンスペースを建具で仕切ることにより、必要に応じて一体利用もできる**地域に開かれた保育園の顔となる空間**です。
■**森の広場**
みんなが集まる園舎の中心にある森の広場は、廊下でも保育室でもない**こどもたちのワクワク空間**です。遊戯室や陽だまりテラスと一体利用が可能です。
■**遊戯室（ランチルーム）**
天井が高くガラス張りのステージが外からも良く見える開放的な遊戯室です。ガラス張りの調理室に隣接し**ランチルームとしての利用も可能**です。

■**調理室**
森の広場に面したガラス張りの調理室は調理を間近で見ることができ食べることへの興味や**食育**につながります。
■**事務室**
見通しの良い**園全体の安全・安心の要**です。
■**0～2才児保育室**
緩やかに天井が高くなっていく未満児の保育室はテラスを介して明るい未満児園庭に面しています。
■**3～5才児保育室**
2室一体で**フレキシブルな利用が可能**なため異年齢保育など様々な使い方ができます。
■**休憩室**
静かで落ち着いた眺めの良い休憩室とし、保育士の皆さんがほっと一息つける場所にします。

